

JSP-50W

鋼斜張橋の概略自動設計

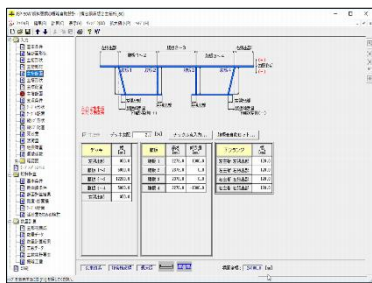
概要

JSP-50W は、道路橋示方書・同解説 I 共通編、II 鋼橋編(平成 24 年 3 月)に基づき、鋼斜張橋の概略設計(断面力算出、断面計算、数量計算、工数積算)を一貫して行います。

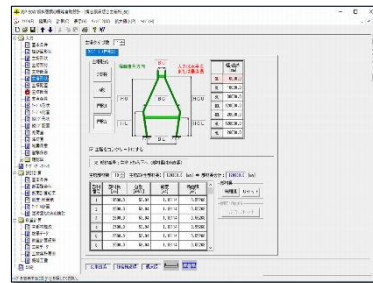
特長

- ① 主構断面は鉄桁・箱桁に対応しています。
- ② モデル入力により簡単に骨組みを作成できます。
- ③ 複合斜張橋の概略設計も可能です。ただし、複合斜張橋(混合構造)のコンクリート部については断面力だけを算出します。
- ④ ケーブル面数は 1 面/2 面から選択できます。
- ⑤ 主桁断面形状は、以下の形状より選択できます。
 - ◆RC 床版 鉄桁 2 主桁/箱桁(1 主桁/2 主桁)
 - ◆鋼床版 鉄桁 2 主桁/箱桁(1 主桁/2 主桁)/多室箱桁/耐風多室箱桁
- ⑥ ケーブル形式は、以下の 6 種類より選択できます。
 ロックドコイルロープ/平行ワイヤストランド正六角形/被覆平行ワイヤストランド/
 Hi Am&DINA アンカーケーブル/NEW-PWS/任意形式
 任意形式は、設計者が名称、鋼重、断面積、切断荷重を設定できます。
- ⑦ ケーブルプレストレスは、相対剛度変化法による計算とその結果に対して設計者が任意に値を入力することにより決定します。
- ⑧ 構造解析には、死荷重・プレストレス・地震・温度変化は骨組変位法、活荷重は影響線による骨組変位法を用いています。
- ⑨ 単位系は SI 単位系および重力単位系に対応しています。

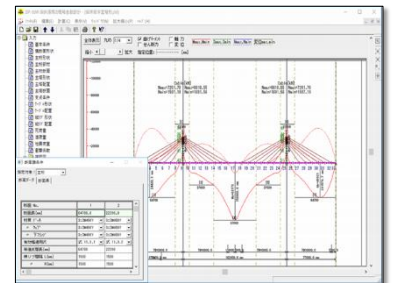
画面例



入力/主桁断面



入力/主桁形状



設計計算/断面諸条件

制限

支間数	: 30 支間	骨組(格点数)	: 800 格点
部材数(主桁)	: 200 部材/支間	骨組(部材数)	: 1000 部材
部材数(主塔)	: 100 部材/主塔	骨組(活荷重載荷格点数)	: 500 格点
主塔断面タイプ	: 10 タイプ		

橋梁の主桁は直線桁のみとし、2 主桁の場合は平行とします。幅員拡幅は考慮しません。

動作環境

Windows 8.1/10

Microsoft®, Windows®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

販売価格

使用許諾料 1,800,000 円 (税込価格: 1,980,000 円)
 追加 1 ライセンス料 180,000 円 (税込価格: 198,400 円)